

Ⅱ 結 果 の 要 約

1. 令和2年10月1日現在の伊丹市人口は198,138人で、前回調査の平成27年(196,883人)に比べ1,255人、0.64%の増加となっている。
2. 人口を男女別にみると、男が95,630人、女が102,508人で女が6,878人多く、人口性比(女100人に対する男の数)が93.3となっており、平成27年(94.5)に比べ1.2ポイント低下している。
3. 人口を年齢別にみると、年少人口〈15歳未満人口〉は27,159人(全人口の13.7%)、生産年齢人口〈15歳以上65歳未満人口〉は119,497人(全人口の60.3%)、老年人口〈65歳以上人口〉は51,476人(全人口の26.0%)となっている。
これを27年の構成比と比べると、年少人口は0.4ポイント低下、生産年齢人口は1.5ポイント低下、老年人口は1.9ポイント上昇している。
4. 世帯総数は82,481世帯で、平成27年(78,903世帯)に比べ3,578世帯、4.5%増加している。そのうち、一般世帯は82,384世帯で、一般の1世帯当たりの人員は、2.35人となっており、平成27年(2.47人)に比べ0.1人減少している。
5. 配偶者関係をみると、有配偶者は男が59.6%女が55.8%となっており、平成27年(男61.0%、女57.4%)に比べ男女とも低下している。
また未婚率は、男が28.5%、女が22.1%と、平成27年(男30.9%、女23.2%)に比べ、男女とも低下している。
6. 住居の状態をみると、一般世帯の持家率は62.8%で平成27年(62.0%)に比べ0.8ポイント上昇している。
7. 15歳以上人口170,973人の労働力状態をみると、労働力人口〈就業者及び完全失業者〉は84,450人で、平成27年(90,854人)に比べ6,404人、7.0%減少している。また、労働力率〈15歳以上に占める労働力人口の割合〉は49.4%で、平成27年に比べ4.5ポイント低下している。
8. 労働力人口を男女別にみると、男は47,042人、女は37,408人で、平成27年に比べ、男は7.0%、女も4.5%減少している。
また、労働力率(15歳以上人口に占める労働力人口の割合)は男57.5%、女41.9%で、平成27年(男65.0%、女43.7%)に比べ、男は7.5ポイント低下、女も1.8ポイント低下している。
9. 就業者数は、80,919人で平成27年(86,507人)に比べ5,588人、6.5%減少している。男女別にみると、男は44,872人、女は36,047人で、平成27年(男49,793人、女36,714人)に比べ男は9.9%減少、女は1.8%減少している。
また65歳以上の就業者数は、9,990人(就業者の12.3%)で平成27年(8,804人)に比べ13.5%増加している。
10. 就業者数を産業大分類別にみると、製造業が13,257人(就業者の18.5%)、卸売・小売業が11,928人(同16.6%)、医療・福祉が10,107人(同14.1%)、建設業が3,853人(同6.4%)、運輸業等が4,410人(同6.2%)サービス業が4,617人(同6.4%)などとなっている。